

1. 本授業科目の基本情報

講義名 (コード)	TCM212	TCM_情報リテラシー II	
科目名 (コード)	TCM212	TCM_情報リテラシー II	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CM2	単位数	2単位30
授業担当者	佐々木隆一	時間数	
成績評価教員	佐々木隆一	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	前期に引き続き、医療従事者（通訳者）を目標に、本学の教育理念に基づき情報リテラシーのスキルアップとキャリアを自ら形成・発展させる。
全体の内容と概要	表計算ソフトExcelを中心に、ビジネス上よく使用される計算式や関数&データベース機能などについて、演習を中心に授業を行う。尚、扱う問題については理解度に応じて変更する場合がある。
授業時間外の学修	余力がある人は、ドリルやオプションの問題にも積極的に取り組むこと。
履修上の注意事項等	必須課題を期限までに未提出の場合は、当日分が欠席扱いになるため必ず提出すること。 なお、通信環境の事情によりUSBメモリが必要になる場合がある。その際は別途指示をする。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション Excel概要・基本用語の理解	Excelの基本用語と画面構成/構成要素 基本操作練習 (p100-115)
2	よく使われる計算式と関数1	ビジネスでよく使われる用語と計算式 練習12・13・14/オプション課題
3	必須課題	Excelの基本操作に関する課題
4	よく使われる計算式と関数2	関数のネスト/端数処理/論理関数 演習
5	よく使われる計算式と関数4	IF関数とVLOOKUP関数について VLOOKUP関数の利用(ドリルp47-48)/演習(ドリルp49)
6	必須課題	上記授業内容についての課題
7	グラフ作成の基本	用語の理解/グラフリボンの機能と操作 (p153-169) 練習17&18演習
8	適切なグラフを作成できる	いろいろなグラフ (p169-176) /レーダーチャート・複合グラフ作成 グラフの印刷/練習19&20&21演習
9	グラフの活用演習	演習：ドリルp33-34、p53-54、p55-56他
10	データベース機能の活用1	用語の理解/データリボンの機能と操作 演習：ドリルp37-40、p41-43
11	データベース機能の活用2	データベース機能の活用口 演習：ドリルp63-65
12	総合演習	Excel総合問題演習他
13	必須課題	上記授業内容についての課題
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ISBN : 978-4908434358 書籍名/出版社 : Office基礎と情報モラル (Office2019対応) /noa出版
参考文献・資料等	ISBN : 978-4-86510-421-9 書籍名/出版社 : 「よくわかるExcel2019ドリル」/FOM出版
備考	